

手すりの選び方



CHECK!!







マツ六 DIY 検索 http://www.mazroc.co.jp/products_2/

マツ六株式会社

手すりの使い方

手すりの使い方は、大きくは「握る」「握る」に分けられ、高齢者が利用する場合は、立ち座りの「握る」と歩行の「支える」といった使い方が多くみられます。また、太さや形状も高齢者の身体状況や使用場所に合わせて適切に選ぶことが大切です。

	動作の補助とは	移動の補助とは
目的	1. 玄関先での立ち座りの補助 2. 便器への立ち座りの補助 3. 扉の開閉のバランス補助 など	1. 階段の昇りや降りの昇降移動 2. 廊下を歩く等の水平移動 3. 部屋内部や屋外の移動 など
使い方	 ●便所、洗面所、扉の横などに使います。	 ●廊下、階段、屋外などに使います。
「握る」	 ●たとえばこんな場所 トイレ、玄関、扉の横など	 ●たとえばこんな場所 廊下、階段、屋外スロープなど
太さ	強く握って移動するため 直径28～32mm	手を滑らせて移動するため 直径32～36mm
形状	円柱型 デインブル型 (特にデインブル加工付のものがよい)	円柱型

手すりの望ましい取付方

高齢者が利用する手すりは、身体状況にあわせて設置することで初めて効果があらわれます。効果的な設置場所や目安になる基本寸法を知っておく必要があります。(身体状況によっては基本寸法では効果的でない場合があります。その場合は専門家に相談してください)

あなたにぴったりの手すりを選びましょう。

まずは太さ

手すり棒の太さは35ミリと32ミリの2サイズがあります。実際に手すり棒を握って、どちらが握りやすいか確認しましょう。

35
ミリ

支えやすい

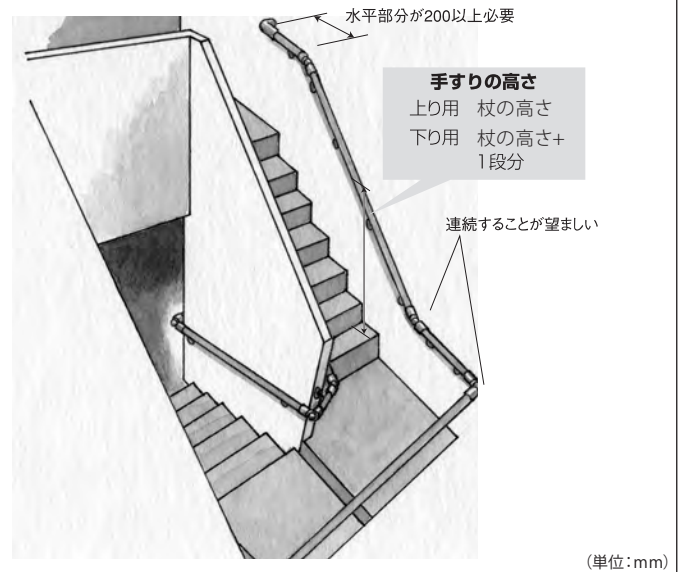
32
ミリ

握りやすい

デインブル付の手すり棒は握りやすい形状です。

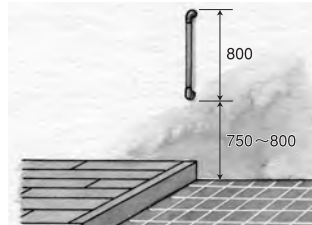
階段

- 手すりは上り用と下り用で高さが異なるため両側につけることが望ましい。
- 片側の場合には降りるときの利き手側とします。



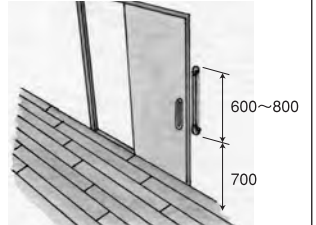
玄関

- 手すりを握る高さは床から1200前後の高さが一般的です。

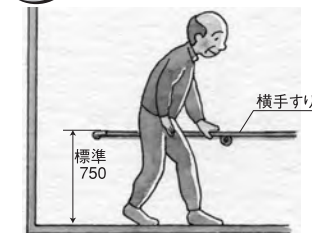


扉の横

- 手すりを握る高さは床から1200前後の高さが一般的です。



廊下



トイレ

- ※図のL型手すりはLタイプ(左用)です。

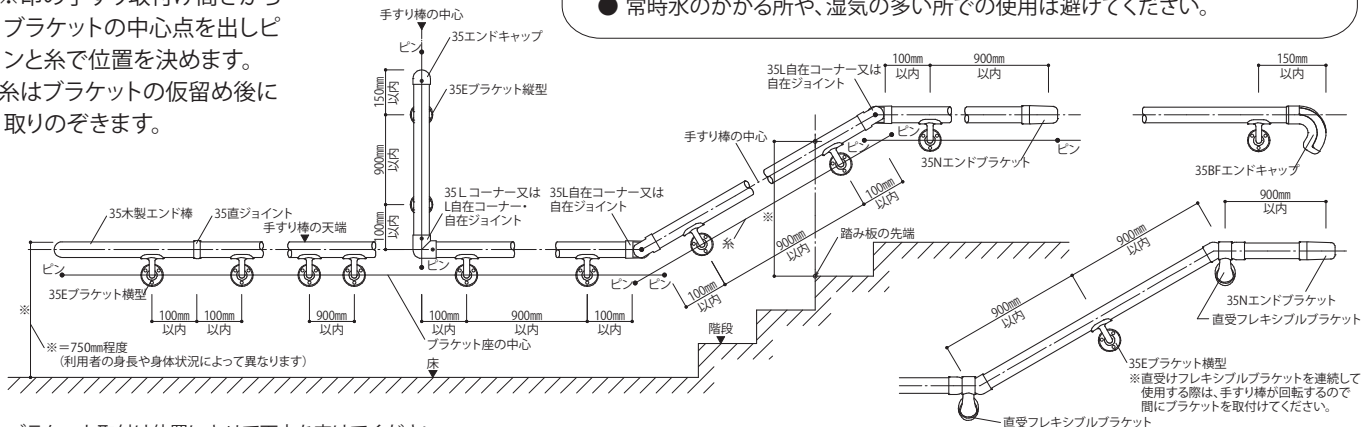


ECLE システム手すり取付方法

35ミリ用

ブラケット取付位置出し

- ※印の手すり取付け高さからブラケットの中心点を出しピンと糸で位置を決めます。
- 糸はブラケットの仮留め後に取りのぞきます。



ブラケット取付け位置にキリで下穴を空けてください。
※手すり本体は非常に堅い木です。無理にねじ込むとねじが壊れるおそれがあります。

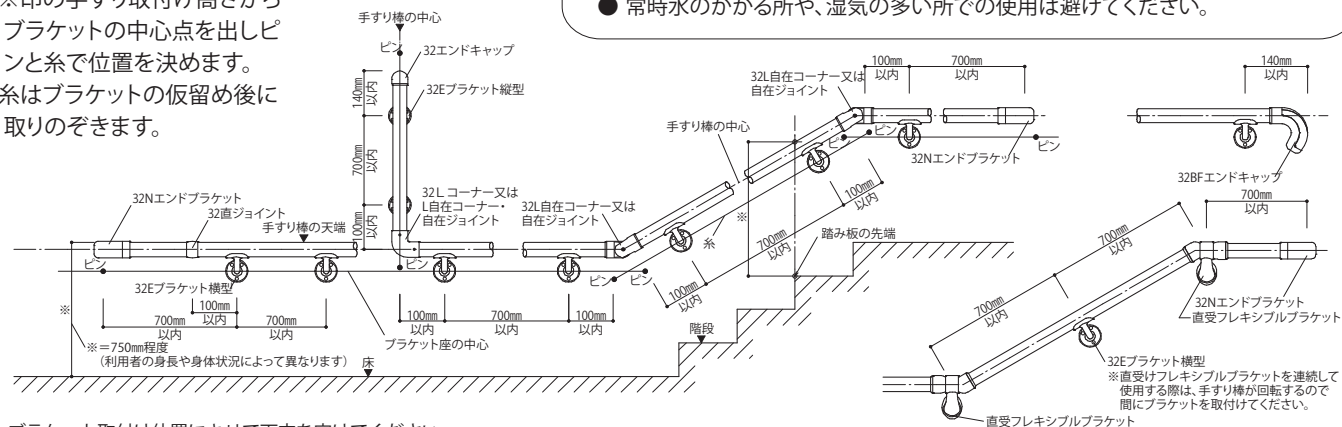
35手すり部材施工のご注意

- ブラケットの取付けピッチは900mm以内としてください。
- 直ジョイントなど接続金具からは100mm以内に必ず取付けてください。(但し、アッシュ・天然目φ35集成材使用時)
- ブラケット取付け位置には必ずねじ径の8割程度の下穴をねじの長さ分あけてねじ止めてください。特にドライバーなどで手回しで止める場合はなるべく柄(握り部)の太いドライバーをご使用ください。
※例えばφ3.5×20mmのねじの場合、
下穴φ2.8で深さ20mmあけてください。
- 壁の下地は、必ず木にねじが20mm以上食い込むようにしてください。
※プラスターボード2枚張りなどは、別途50mm以上のねじが必要です。
- 常時水のかかる所や、湿気の多い所での使用は避けてください。

32ミリ用

ブラケット取付位置出し

- ※印の手すり取付け高さからブラケットの中心点を出しピンと糸で位置を決めます。
- 糸はブラケットの仮留め後に取りのぞきます。



ブラケット取付け位置にキリで下穴を空けてください。
※手すり本体は非常に堅い木です。無理にねじ込むとねじが壊れるおそれがあります。

32手すり部材施工のご注意

- ブラケットの取付けピッチは700mm以内としてください。
- 直ジョイントなど接続金具からは100mm以内に必ず取付けてください。(但し、アッシュ・天然目φ32集成材使用時)
- ブラケット取付け位置には必ずねじ径の8割程度の下穴をねじの長さ分あけてねじ止めてください。特にドライバーなどで手回しで止める場合はなるべく柄(握り部)の太いドライバーをご使用ください。
※例えばφ3.5×20mmのねじの場合、
下穴φ2.8で深さ20mmあけてください。
- 壁の下地は、必ず木にねじが20mm以上食い込むようにしてください。
※プラスターボード2枚張りなどは、別途50mm以上のねじが必要です。
- 常時水のかかる所や、湿気の多い所での使用は避けてください。

下地がない場合の取付方法

- エクレ35木製手すりシリーズのベースプレートを構造材に固定し、ブラケットをベースプレートに取付けます。
取付けピッチ 100mm巾、120mm巾 910mmピッチ以内
80mm巾 455mmピッチ以内
- ベースプレートの端部は柱に届くようにしてください。
- ベースプレートを構造材に固定する場合は、長さ50mm以上のローレットビスを使用してください。

